

## 土本委員提出意見

障がい者制度改革推進会議が平成 21 年 2009 年 12 月からはじまって  
いま障がい者政策委員会がやっている。

さいちゅうですが平成 25 年 7 月 22 日（月）

障がい者政策委員会議事のなかで

障がい者基本計画（政府原あん）についての

はなしあいがありましたがいままで

なにをはなしあってきたのか。障がい者の

権利条約自分たちの権利をまもる「やくそく」を

するとゆうことで、しょうがいしゃ、団体、かぞくの団体

大学の先生やぎょうせいの人があつまって

きましたが、ながい日時をかけて、お金も

かけて、とおいところからきて、しょうがいしゃの

権利ができあがるとしんじてきて、

いっばいいいっばい会議では、ついていけれ

なかつたこと、うまくつたえられなかつたこと

むずかしくてどんなことをつたえたらいいのか、

会議の時間 3 時間そこにすわってきいて

いたこと。いままでとおなじでそこにすわって

だまってきいていればいい。ちてきのしょうがい

のこともりかいされないことがおおく

どんなばしょでもだまってきいていろおとなしい

しょうがいしゃをやっていればいい。わからない

しょうがいしゃは、いつまでもおいていかれ、

さべつされつづけ、ぎゃくたいをうけても

かんじとつてもくれないままの国

ちてきしょうがいしゃは国のてのひらに

のっているといっている。自分たちしょうがいしゃが

いることで仕事ができることもかんじない

ままになっている。いままでもいまもこれからも、

くちだすな。国のゆうことをきいていればいい

んだ。生活じょうむずかしい仲間たちは

とうくにおいだされ、かぞくとのからしもさせない。

入所施設に一生とじこめて、ぎゃくたい、さべつ

をうけ 1 人の人間としてあつかわれたいまま、

ほっとかされている。ちいきでは福祉サービスがたりないとうたっている仲間。やりたい、したいことさえもできない仲間。ながいあいだ病院の生活の仲間。それぞれにかかえている仲間。せいかつほごもうけられなかつた、こりつした仲間。しょうがないとゆう人たちがおおいしょうがいしゃはすくないといわれていても、ここに生活をしていること。しょうがいしゃである前に1人人間としてあつかわれたい。自分たちは、しょうがいしゃであってもいきる権利がある。人権もある。ぎゃくたいさべつされない。「私たちに関係することを決める時は、かならず私たちの意見を聞いて決めること」障がい者基本計画「政府原あん」をきいただけである。なんのために会議にいったのか。おおくの仲間たちにやってきたことです。仲間たちがちいきでいきいきのびのびゆうゆうとした生活ができるよううたえてきた。1人でもおおくしたいこと。やりたいことだれとどこで生活をする、自分でえらんできめるひつようでてきせつな情報をうけひつようでてきせつな支援をうけながらも、ちいきでの生活をし、全国でまだ12万人の仲間たちがはいじょされつづけられていること。障がい者制度改革推進会議、障がい者政策委員会にでてきました。ちてきはだまっていそはつげんするなとゆうことです。おかざりですわらされることは、さべつでありぎゃくたいです。

2013年7月23日（火）  
ピープルファースト北海道会長  
土本秋夫